

賃金改善以外で取り組んでいる処遇改善の内容（特定施設入居者生活介護事業所 ふれあい館）

1. 入職促進に向けた取組

要件	取組の内容
法人や事業所の経営理念やケア方針・人材育成方針、その実現のための施策・仕組みなどの明確化	職員に対して、事業計画及び事業報告の周知し、法人の理念を踏まえ、具体的実現に向けた取り組みを説明している。
他産業からの転職者、主婦層、中高年齢者等、経験者・有資格者にこだわらない幅広い採用の仕組みの構築	受診送迎や設備の管理を行う職員を年齢や経験、資格を問わず採用している。
職業体験の受入れや地域行事への参加や主催等による職業魅力度向上の取組の実施	公共施設の避難訓練など、地域行事に参加し、地域住民との交流を図っている。

2. 資質の向上やキャリアアップに向けた支援

要件	取組の内容
働きながら介護福祉士取得を目指す者に対する実務者研修受講支援や、より専門性の高い介護技術を取得しようとする者に対するユニットリーダー研修、ファーストステップ研修、喀痰吸引、認知症ケア、サービス提供責任者研修、中堅職員に対するマネジメント研修の受講支援等	介護福祉士受講に対して、円滑に学習できるよう、研修日として業務と分けて積極的に資格を取得できるように支援している。また、初回時に、試験費用、宿泊費の負担を行っている。その他、網走管内の老人福祉に対しての研修に参加している。
研修の受講やキャリア段位制度と人事考課との連動	取得している資格、業務に応じて職位が上がるよう設定している。
上位者・担当者等によるキャリア面談など、キャリアアップ・働き方等に関する定期的な相談の機会の確保	1年に1度、施設長による全職員の面談を実施している。また、随時個人面談を行い、普段の業務の様子、心配ごとへの相談を実施している。

3. 両立支援・多様な働き方の推進

要件	取組の内容
子育てや家族等の介護等と仕事の両立を目指すための休業制度の充実、事業所内託児施設の整備	育児休暇や介護休暇等の制度を設けている。 子ども及び同居家族での急な体調不良などでの急な有給取得であっても柔軟に対応している。
職員の事情等の状況に応じた勤務シフトや短時間正規職員制度の導入、職員の希望に即した非正規職員から正規職員への転換の制度等の整備	毎月勤務希望を受付、職員の休暇希望に柔軟に対応している。 勤務形態については、本人、同居家族等での諸事情を踏まえ、事情に合わせた勤務状況としている。
有給休暇を取得しやすい雰囲気・意識作りのため、具体的な取得目標（例えば、1週間以上の休暇を年に●回取得、付与日数のうち●%以上を取得）を定めた上で取得状況を定期的に確認し、身近な上司等からの積極的な声掛けを行っている	最低取得日数の5日の他、取得率の低い職員には遠慮せず有休を取得するよう呼びかけを行っている。また、有休の希望は事前、突発的も含め受け入れをしている。
有給休暇の取得促進のため、情報共有や複数担当制等により、業務の属人化の解消、業務配分の偏りの解消を行っている。	1業務につき担当者を複数配置するなど、業務を分担し、特定の職員が不在でも業務が円滑に進むようにしている。

4. 腰痛を含む心身の健康管理

要件	取組の内容
業務や福利厚生制度、メンタルヘルス等の職員相談窓口の設置等相談体制の充実	衛生委員会において相談窓口を設置し、何でも相談できる環境づくりをしている。
短時間勤務労働者等も受診可能な健康診断・ストレスチェックや、従業員のための休憩室の設置等健康管理対策の実施	健康診断は全職員を対象。 年1回ストレスチェックを全職員対象に実施。 職員休憩用の部屋を用意し、業務を離れ、休憩がとれるように環境づくりを行っている。
事故・トラブルへの対応マニュアル等の作成等の体制の整備	リスクマネジメント委員会を設置し、ヒヤリハット事例や事故事例の分析を行っている。

5. 生産性向上（業務改善及び働く環境改善）のための取組

要件	取組の内容
現場の課題の見える化（課題の抽出、課題の構造化、業務時間調査の実施等）を実施している	ヒヤリハット事例や事故事例を分析し、問題点を解決する仕組みを作っている。
5 S 活動（業務管理の手法の1つ。整理・整頓・清掃・清潔・躰の頭文字をとったもの）等の実践による職場環境の整備を行っている	衛生管理者が週1回職場巡回をし、改善点がある場合には状況報告し、の助言を行っている。
業務内容の明確化と役割分担を行い、介護職員がケアに集中できる環境を整備。特に、間接業務（食事等の片付け、清掃、ベッドメイク、ゴミ捨て等）がある場合は、いわゆる介護助手等の活用や外注等で担うなど、役割の見直しやシフトの組み換え等を行う。	シフトに応じて業務を分担している。 職種を分けることで、業務分担を明確化している。 共有部分の清掃は外部委託しており、担当職員が月に1回～2回ほど担当居室清掃を行っている。

6. やりがい、働きがいの醸成

要件	取組の内容
ミーティング等による職場内コミュニケーションの円滑化による個々の介護職員の気づきを踏まえた勤務環境やケア内容の改善	毎月法人各施設の管理者が集まり、ミーティング・情報共有を行っている。 月に1度、主任会議を行い、介護・看護・生活相談等々の情報共有、課題解決を行っている。 看護職員会議を行い、処置について検討している。
地域包括ケアの一員としてのモチベーション向上に資する、地域の児童・生徒や住民との交流の実施	地域行事に参加し、住民との交流を図っている。 地域幼稚園や団体からの慰問の受け入れをし、交流会を行っている。